

ポンペによる西洋式近代病院
「長崎小島養生所」の設計図解説書の翻刻訳注

Rudy TOET
安武 敦子

ポンペによる西洋式近代病院 「長崎小島養生所」の設計図解説書の翻刻訳注

長崎大学 Rudy TOET

長崎大学 安武 敦子

経緯

1861（文久元）年に開院した長崎養生所は、オランダ海軍軍医ポンペ・ファン・メールドルフォールト（J. L. C. Pompe van Meerdervoort, 1829-1908—以下「ポンペ」）によって計画され、規模を縮小して建設された。完成した後の絵や古写真は残っており、2018年に長崎市によって発掘調査が行われた際、基礎遺構が確認された。しかし、当初ポンペがどのような病院を計画したかについて全容は明らかになっていない。

ポンペは来日後、幕府側の要望で医学を教えることになり、本格的な医学教育には病院が必要と幕府に建議し、1861（文久元）年に長崎養生所を完成させた。現存する資料として、東京大学史料編纂所の島津斎彬関係史料に、ポンペの署名のあるオランダ語で書かれた「ヨルクハール J. L. C. ポンペ・ファン・メールドルフォールト医官によって設計された病院の設計図」（島津家文書 82-4-4-1A、82-4-4-1B）というものと、その和訳である「病院構造図式解」（島津家文書 82-4-4-2）が収蔵されている。病院の図面を解説する文章となっているが、図は見つかっていない。1858（安政5）年の旧暦3月にはポンペが書いた「病院心得方之記略三枚」と「病院心得方之記略附図壹枚」が幕府へ提出されたが（沼田 1946：73；中西 1961：62-64）、現存する二つの資料には1858（安政5）年6月の日付があり、オランダ語で書かれた方は4つ折りの2枚で、和訳の「病院構造図式解」は8枚の袋綴じであることから、後に作成された別の資料であることが分かる。ポンペ自身の記述によると（Pompe van Meerdervoort 1868: 190-191）、1858年の江戸参府の際、オランダ領事官ドンケル・クルチウス（J. H. Donker Curtius, 1813-1879）がポンペの幕府宛ての「覚書」（memorie）を江戸へ持参した。この「覚書」の中では病院の建設も力説したと述べている。そして、翌年に病院の建設が許可されたが、「その間」（inmiddels）、「設計図」（plannen）も作成したと述べている。なお、図面そのものは一等海尉ファン・

トローイェン (B. D. van Trojen, 1825-1885) が描いたとある。「病院心得方之記略三枚」と「病院心得方之記略附図壹枚」はポンペの言う「覚書」の一部で、現存する資料はポンペの言う「設計図」の付録資料であると考えられる。

沼田次郎氏 (1946 : 75-80, 1950 : 138-143) が最初に翻刻した当時の和訳「病院構造図式解」は誤訳もあり分かりづらい部分が多く、新谷肇一氏 (1986 : 57-62) がオランダ語原文の翻刻とともに新たに現代語訳を試みている。本稿の翻訳作業が既に完了に近い段階で入手した新谷氏の翻訳はかなり精度が高いが、いくつかの誤訳も残っている。本稿の現代語訳は、付属図面が発見されていない現時点において計画像に最大限迫ることを可能にするために、自然な日本語よりもなるべくオランダ語原文への忠実性を優先したため、新谷氏の訳に比べて直訳に近いものになっている。さらに、単数形・複数形のような文法情報等のオランダ語の解説を含む詳細な注を加えているため、ポンペの設計意図により踏み込むことができる。これらの理由により、本稿の訳注を本誌に投稿することにした。既存の翻刻にもそれぞれいくつかの誤字脱字等があるため、オランダ語原文と当時の和訳の新たな翻刻も含めることにした。

翻訳の建築復元的な意義

これまでの研究やこの翻訳からも明らかのように長崎養生所は計画時からH型の建物で、Hの縦の部分に病室、横の部分に諸室や階段が置かれたことが分かっている。病室についてポンペは長さや幅、高さにまで言及している。なお実際に建てられた建物では規模が小さくなったもののH型が採用され、Hの横の部分の中央に階段が作られ、廊下は中庭側に作られた。また正面には冠木門があった。

さて今回の翻訳により、ポンペの計画案について下記のような病院の形態が推察される。

廊下 (C) 病室の片側が廊下で、全体を取り囲むことを思わせる語が用いられており、ポン

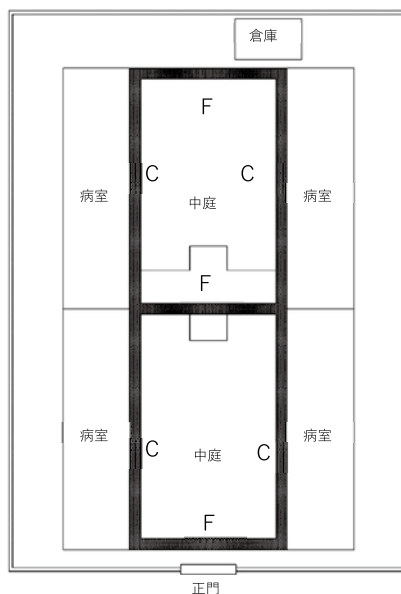


図 ポンペの計画した養生所の想像図 (塀の大きさや倉庫の大きさ・位置は不明)

べは病人の散歩を奨励していることを加味すると、回廊であった可能性が高い。Fの3本の廊下と合わせて、全体を回遊できる「日」という形であったことが類推される。また廊下の位置は、*b*が病室の長辺側の立面図、*d*が中庭側の廊下の立面であることから、病室が外側、廊下は中庭側に計画された。

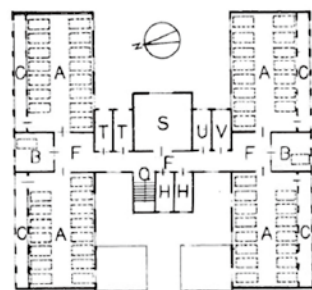
横ブロック（Hの横の部分）の立面図が正面と背面に4つずつある（*cccc*と*eeee*）ことから、直方体ではなく凹凸があったことが類推される。

倉庫（R）：燃料、食料等々のための二つの大きな倉庫は、立面図に別途記載（*ffff*）があるため独立して建てられていることが分かる。立面図が4面であることから、2棟でそれぞれが全く同じか、2棟ではなく1棟が2つに区切られていたと類推でき、それぞれの備蓄量を考慮すると同じ大きさで建てるとは考えにくいため後者の可能性が高いと類推される。

病室以外の諸室：4つの病室以外の室数は、室名が記載された個数から考えると各階10室と考えられる。

そのほか翻訳により、単数や複数の区別から、病室には複数のベッドがあること、井戸は複数あり、1階の厨房や、調剤室、病人服のための保管所、浴室、2階の手術室、器材室、図書室、試験を実施する部屋は単数であるため1室であったことが確認できる。

これまでポンペの計画図面の復元については新谷氏（1984：73）による復元想像図がある。根拠は示されておらず試案として描かれたと考えられるが、廊下（C）が外側となっている点、倉庫（R）は正門の両脇にあり独立していない点、Hの横の部分の室数は10室となっていない点は間違いと指摘できよう。またFの3つの廊下の解釈は、Hの横の部分に横断する廊下1本と、縦の部分との接合部に各1つずつ記号が付けられているが、性格が異なるため、この解釈は難しいと言える。以上のようにポンペの解説文を深く翻訳することによって、当時のポンペが西洋式病院をどのような形態で導入しようとしていたのか、彼の理想像を考察する資料となり得る。



2 F PLAN



1 F PLAN

図 新谷氏（1984：73）による養生所の復元想像図

翻刻翻訳の方針

左右見開きにし、オランダ語原文（島津家文書 82-4-4-1A、82-4-4-1B）、当時の和訳（島津家文書 82-4-4-2）、現代語訳それぞれの対応する段落を横に揃えることにより、読者の便宜を図った。

オランダ語原文におけるポンペの筆記体の筆跡では、複合語や冠詞と前置詞の組み合わせ等、隣接する二語の間にスペースを置いているのか、一語目の語末字と二語目の語頭字を繋げていないだけなのかの判断が困難な場合が多い。翻刻においては、複合語は分かち書きせず、冠詞と前置詞は分かち書きする等、現代オランダ語の正書法に沿って統一した。

ポンペの用いる Z、z の字体は常にやや大きく、大文字を意図しているかどうかの判断が困難な場合がある。これに関しても現代オランダ語の正書法に従うことを基本としながら、大文字の略語 N「北」に合わせて Z「南」も大文字にする等、文章内の一貫性を目指した。

当時の和訳の翻刻に際しては、漢字をなるべく新字体に改め、「ㇿ」等の二音節仮名を「コト」のように二つの仮名で表記した。

参考文献

- 青木正夫・新谷肇一・篠原宏年（1986）「長崎養生所の平面計画および構造と運営について」『日本建築学会計画系論文報告集』367：23-34
- 新谷肇一（1984）「病院建築の計画史的研究」（Ⅰ）『有明工業高等専門学校紀要』20：61-76
- 新谷肇一（1986）「病院建築の計画史的研究」（Ⅱ）『有明工業高等専門学校紀要』22：49-62
- 中西啓（1961）「長崎医学の百年」『長崎医学百年史』長崎大学医学部
- 沼田次郎（1946）「幕末に於ける蘭人教師ポムペの事蹟」『史学雑誌』56（8）：45-97
- 沼田次郎（1950）『幕末洋学史』刀江書院
- Gelder, J. de. (1847) *Allereerste Gronden der Cijferkunst*, 6th ed., vol. 1. The Hague & Amsterdam: Gebr. Van Cleef.
- Pompe van Meerdervoort, J. L. C. (1868) *Vijf jaren in Japan*, vol. 2. Leiden: Van den Heuvel & Van Santen.

島津家文書82-4-4-1A 表一原文

*Project voor een Ziekenhuis ontworpen door den
Officier van Gezondheid.
Jhr J L C. Pompe van Meerdervoort.*

-
- AAAA. *Ziekenzalén.*
 - BB. *Ziekenopzigtersverblijf.*
 - CCCC. *Doorloopende Gallerij of gaanderij*
 - D. *Bureaux, dat zijn schrijf en
administratiekamers.*
 - E. *id: id id.*
 - FFF. *Gangen of Gallerij. (gaanderij)*
 - G. *Wachtkamer. voor den wachthebbenden
Geneesheer*
 - H. *Oppasserskamers*
 - I. *Desinfecteer dat is zuiveringshok voor
besmette kledingsstukken*
 - K. *Badkamer*

 - L. *Keuken met verscheidene fournuizen*
 - M. *Apotheek*
 - N. *Bewaarplaats voor de ziekenkleeding.*
 - O. *Latrines. (sekreeten).*
 - P. *Waterputten.*
 - Q. *Trappen.*
 - R. *Twee groote bergplaatsen voor
brandstoffen, voedingsmiddelen enz, enz,*

島津家文書82-4-4-2 一丁表

病院構造^{注1}

上ノ左引出し^{注2}

島津家文書82-4-4-2 一丁裏

[空白]

島津家文書82-4-4-2 二丁表

病院構造図式解

- AAAA 病人舎
- BB 各名病者居所^{注5}
- CCCC 廻廊下
- D 書役。監察官室

- [Eは欠如]
- FFF 廻廊
- G 番医師室
- H 看護者室
- I 穢垢衣衾ヲ洗濯スル所
- K 浴室

島津家文書82-4-4-2 二丁裏

- L 炊煮所
- M 薬局
- N 患者衣裳貯蔵所
- O 厠
- P 水井
- Q 階段
- R 薪炭食糧貯所二軒

ヨルクヘル^{注3} J. L. C. ボンペ・ファン・
メールドルフォールト医官によって
設計された病院の設計図

- AAAA. 病室^{注4}。
BB. 看護師長室^{注6}。
CCCC. 続く廊下^{注7}
D. 事務・管理室^{注8}。

E. 同上 同上 同上
FFF. 廊下^{注9}。
G. 当番医師^{注10}のための当番室^{注11}。

H. 看護師室^{注12}
I. 汚染された衣服のための消毒室^{注13}

K. 浴室^{注14}

L. いくつかのこんろを含む厨房^{注15}
M. 調剤室^{注16}
N. 病人服のための保管所^{注17}。
O. 便所^{注18}。
P. 井戸^{注19}。
Q. 階段^{注20}。
R. 燃料、食料等々のための二つの大きな
収納所^{注21}

- 注1 本文と異なる筆跡。
注2 本文および注1の箇所と異なる筆跡。
注3 jonkheer、爵位のない貴族の称号。
注4 複数形。個室ではなく複数の病人が入るよ
うな部屋を示唆する語。Aが四つあること
は設計図に病室が四つあったということか
(以下同じ)。
注5 原文の ziekenopzigter (注6を参照) の一
部を zieken op zig「病人個別に」と誤解
したものと思われる。
注6 単数形。ziekenopzigter は直訳すると「病
人監督者」で、看護師より上位で病室を監
督する人の職名。verblijf は直訳すると「滞
在所」で、住み込みを想定した可能性もあ
る。新谷氏(1986: 61)および青木・新谷・
篠原(1986: 28)は、島津家文書82-4-4-2
の訳をも根拠に、opzigter を opzigten「監
視する」と捉えて「患者隔離観察室」とす
るが、opzigten という動詞は存在しない。
注7 単数形。gallerij と gaanderij は同義で、本
来は片側が開いているか窓になっている廊
下等。doorlopende は「続く、通る」の
ような意味で、一棟の全体を通るか取り囲
む長い廊下を思わせる。
注8 bureaux は複数形で「事務室」のこ
と。dat zijn は「すなわち」、schrijf en
administratiekamers は複数形で「事務・
管理室」。schrijf は直訳するなら「書く」。
注9 gangen は複数形で、廊下を指す最も一
般的な語。of は「あるいは」。gallerij と
gaanderij は単数形。
注10 単数形。
注11 単数形。
注12 kamers は複数形。(zieken)oppasser は看
護師を指す当時の最も一般的な語のよう。
男性名詞であるため、男性としての限定的
な解釈も、性別に関して中立的な解釈も可
能。

Z. *Hoofdingang aan de straat.*

aaaa *Buitenzijmuuren*
bbbb. *Zijdelingsche opstand van het lange front, dus der ziekenzalen in hunne lengteafmeting.*

cccc. *Voorfront van het dwarschblok*
dddd. *Opstand der gang aan de binnentuinzijde.*

eeee. *Achterfront aan het dwarschblok*
ffff *Opstand der berghokken.*
gggg. *Dwarsche doorsnede der hoofdtrap en hoofdeur^{註32} van het dwarschblok*

hhhh. *VoorOpstand^{註34} der dwarsche afmeting van de ziekenzaal met de gang dus voor aan de gang geen' ramen.*

iiii. *Achteropstand als boven.*
1111. *Deuren der ziekenzalen*
2222 *Ramen in de ziekenzalen*
3333. *Ramen in de gang.*

島津家文書 82-4-4-1A 裏一原文

5555. *Deuren in de verschillende vertrekken uitkomende in de doorlopende gaanderij FFF.*
 …… *Al het gestipelde^{註46} terrein moet voor wandeling aangelegen worden; hier mag men echter geen hoog hout planten, daar dit de vrije luchtstroom zeer zoude beletten, maar men plantte^{註47} hier laage boomen en heestergewas.*
Voorts moet naar verkiezing binnen of buiten dit gebouw nog aangebragt

Z 通融大門

aaaa 外側壁
bbbb 病舎豎面側手距離^{註24}

島津家文書82-4-4-2 三丁表

cccc ドワーセブロック前面
dddd 内庭ト廻廊ノ距離

eeee ドワーセブロック後面
ffff 副屋距離
gggg ドワーセブロック階段門戸側立形

hhhh 病舎横面前距ト廻路ノ形 廻路ニ障窓ナシ

iiii 同上後距
1111 病舎入口戸
2222 病舎障窓
3333 廻廊窓牖

島津家文書82-4-4-2 三丁裏

4444 諸種寮室窓牖

5555 諸種寮室戸 廻廊ト通ス

…………… 此点劃地面ハ開豁ナルヘシ 此所ハ絶テ喬木ヲ植スヘカラス 否ラサレハ大氣ノ通融ヲ妨クルナリ 灌木青草ヲ植テ佳ナリ

其他屋舎ノ内庭或屋外ニ鶏ヲ養息スル所^{註48}アルヘシ 又死人ヲ置ク一室アルヘシ 病者斃レハ病

- Z. 道に面する正面入り口^{注22}。
-
- aaaa 外側塀^{注23}
bbbb. 長辺面、つまり病室^{注25}の長辺の側立面図。
- cccc. 横ブロック^{注26}の正面図
dddd. 中庭側の廊下^{注27}の立面図。
- eeee. 横ブロック^{注28}の背面図
ffff 収納所^{注29}の立面図。
gggg. 横ブロック^{注30}の主階段^{注31}および主扉^{注33}の断面図
hhhh. 廊下^{注35}を含む病室^{注36}の短辺の正立面図、つまり廊下^{注37}の前方は窓なし。
- iiii. 上記の背立面図。
1111. 病室^{注38}の扉^{注39}
2222 病室^{注40}の窓^{注41}
3333. 廊下^{注42}の窓^{注43}。
4444. 上記の各部屋の窓。

島津家文書82-4-4-1A 裏一現代語訳

5555. 各部屋における、続く廊下^{注44} FFF. への扉^{注45}。
- …… 打点域の土地はすべて散歩用として敷設されるべきである。しかし、空気の高い自由な流れを大きく妨げるため、高木を植えてはならず、低木と灌木を植えるべきである。
- さらに、随意で^{注49}この建物の中か外に死者を運んで保管する部屋^{注50}が付け

- 注13 desinfecteer は「消毒」、dat is は「すなわち」、zuivering は「浄化」、hok は単数形で小部屋のこと。
- 注14 単数形。
- 注15 単数形。
- 注16 単数形。薬を保管するだけの場所の可能性もあるが、通常、調剤もする所を指す。
- 注17 単数形。
- 注18 または「便器」。latrines と sekreten は同義語でどちらも複数形。
- 注19 複数形。
- 注20 複数形。
- 注21 以下の ffff がこれの立面図になっているので、孤立した物置か。
- 注22 hoofd は「主」、ingang は単数形で「入り口」であるため、戸ではなくて門と考えて良いなら正門のこと。
- 注23 または外側壁。複数形。
- 注24 青木・新谷・篠原 (1986 : 25) が指摘するように、opstand 「立面図」を afstand 「距離」と勘違いしたものと思われる (dddd、ffff、hhhh、iiii も同様)。
- 注25 複数形。
- 注26 単数形。H字型の横の部分のことか。
- 注27 gang は FFF. の gangen の単数形。
- 注28 単数形。
- 注29 複数形。
- 注30 単数形。
- 注31 単数形。
- 注32 正しくは hoofddeur 「主扉」。
- 注33 単数形。
- 注34 Voor 「前」は行頭に挿入された修正で、「正立面図」の「正」に当たる。
- 注35 単数形。FFF. の gangen と dddd. の gang と同じ語。
- 注36 単数形。
- 注37 注35と同じ。
- 注38 複数形。
- 注39 複数形。
- 注40 複数形。

worden een vertrek om de dooden te brengen en te bewaren; zoowel omdat men dezelve niet in de ziekenzalen mag laten vertoeven, als om deze lijken tot ontleedkundig onderwijs zoo veel mogelijk te gebruiken. Dit vertrek moet voorzien worden met mat vengsterglas, zoodat men van buiten niet kan inkijken. het best nog is om het ligt van boven aan te brengen.

Het alzo opgegeven plan is de plattegrondteekening, bestaande dus uit 4 groote ziekenzalen en de overige benooidigde vertrekken. Men moet hier echter op bouwen nog eene verdieping in alles gelijk aan de grondverdieping daardoor zal men verkrijgen 8 ziekenzalen, alsmede in het dwarschblok 10 afzonderlijke vertrekken alle gelijk aan die van het dwarschblok der onderste verdieping. Daar men echter deze vertrekken niet behoeft te gebruiken evenals beneden kan men dezelve op de bovenverdieping benuttigen voor; operatiekamer, instrumentenkamer, bibliotheek, een vertrek tot afnemen van examens, nog een of twee kamers voor ziekenoppassers; het is alsmede noodig voortdurend minstens twee vertrekken geheel in order te hebben om lijdens welke zware operatien te ondergaan hebben, gedurende de 1^e dagen, na de kunstbewerking afzonderlijk te verplegen.

Moet dit gebouw eene Militaire inrigting worden, dan is het een vereischte eenige der kamers op deze bovenverdieping in te rigten voor officiersziekenkamers, deze zijn in een goed hospitaal onmisbaar.

Dit Hospitaal met 8 zalen is berekend tot verpleging van 200 zieken in elke zaal 25. Elke zaal is lang 100 Amst: v: breed 30 voet en hoog

舎ニ置クヘカラス 此所ニ送テ屍ヲ解剖シテ其学ヲ講究スヘシ 末多硝子窓ヲ設テ外ヨリ人視キ視ルコト能ハサラシム 尚^ホ又室ノ上際ニ窓牖ヲ開クヘシ

島津家文書82-4-4-2 四丁表

右ノ図式ハ平坦ノ地ニ劃スルモノ^{註51}ニシテ病院巨屋其余ノ要用寮舎ヲ構成ス 尚更ニ此屋上ニ樓ヲ架スヘシ 構造総テ下屋ノ如シ 之レニ由テ又八病舎ヲ得ルナリ 又「ドワーセブロック」ニ樓ヲ建テ十個各舎ヲ得ルヘシ 広幅総テ「ドワーセブロック」ノ下屋ノ如シ 此樓室ノ用ハ下室ニ異ナリ 茲ニ施術室器械室書籍室^{此間一語未詳}ヲ置クナリ 又看護者ノ室一軒或二軒ヲ設クヘシ

或又常ニ両室ヲ設テ大施術ヲ受クル患者施術後一七日^{註56}ノ間療養スルニ備フ

島津家文書82-4-4-2 四丁裏

若^シ病院。軍用ニ係ルトキハ樓室一二軒ヲ以テラッヒシール病室ヲ備フヘシ 是^レ善良病院ニ於^テ欠クヘカラス

此八舎ヲ備フル病院ハ各舎ニ患者二十五名ヲ置クナリ 各舎長^キアムステルダム百弗多幅三十弗多高十六弗多ニシテ内面方四十八弗多アルヘシ^{註58}

られるべきである。病室に留めておいてはならないに加え、これらの死体できるだけ解剖学教育に使うためである。この部屋には、外から中を覗くことができないよう、磨りガラスの窓が設置されるべきである。光を上から取り入れることがなお最良である。

このように提示した設計図は、つまり、四つの大きな病室とその他の必要な部屋から成る平面図である。しかし、この上には、すべてにおいて地上階に等しいもう一つの階を建設すべきである。それによって、八つの病室に加え、横ブロックにおいては、すべて下の階の横ブロックの部屋に等しい十^{注52}の別々の部屋が得られるのである。しかし、これらの部屋は下と同じように使わなくても良いため、上の階では手術室、器材室、図書室、試験^{注53}を実施する部屋^{注54}、もう一つ、二つの看護師^{注55}のための部屋として利用できる。さらに、重い手術を受けなければならない患者を手術後、最初の数日間個別に看護するために、少なくとも二つの部屋を絶え間なく完全に整えた状態に維持することも必要である。

この建物が軍事施設^{注57}になるべき場合は、上の階の部屋のいくつかを士官病室として整備することが求められる。良い病院ではこれらは欠かせない。

八つの病室のあるこの病院は各病室で25人、つまり200人の病人の看護を想定したものである。各病室の長さは100アムステルダム・フット、幅

- 注41 複数形。
- 注42 単数形。FFF. の gangen と dddd、hhhh の gang と同じ語。
- 注43 複数形。
- 注44 単数形。CCCC. と同じ語。
- 注45 複数形。
- 注46 正しくは gestippelde 「打点された」。
- 注47 正しくは planten 「植える」の接続形 plante。
- 注48 原文では naar verkiezing 「随意で」の naar の n と r の字形がそれぞれ h と n に似ており、haan 「雄鶏」と読み間違えられたと思われる。
- 注49 随意であるのは中か外かの選択のみであると思われる。
- 注50 単数形。
- 注51 原文の plattegrond (teekening) 「平面図」の構成要素 platte 「平らな」と grond 「地面」を直訳したと思われる。
- 注52 以上の「八つの病室」は1階と2階の病室を合わせた数で、以下の各部屋の使用例も四つ、五つあるため、この「横ブロックの十の部屋」も1階と2階の部屋を合わせた数であるという解釈が自然であるが、「横ブロックの十の部屋が1階の横ブロックの部屋に等しい」という書き方になっているため、横ブロックの1階と2階にそれぞれ十の部屋があるという解釈もできる。
- 注53 青木・新谷・篠原 (1986: 28) が指摘するように、examen はかつて広く「検査」等の意味でも用いられたため、物の検査または患者の診察を指す可能性もある。しかし、恐らく今日のオランダ語において通常の意味である「(教育上の) 試験」であると思われる。
- 注54 これらの部屋はすべて単数形。
- 注55 ziekenoppasser の意味に関しては注12を参照。
- 注56 青木・新谷・篠原 (1986: 28-9) が指摘するように、eerste 「第一・最初の」の略1^e

16 Amst: voeten dus eene kubieke inhoud van 48.000. voet hetgeen ruim voldoende is. Het geheele gebouw moet staan op eene ophooging van ongeveer eene halve Nederlandsche^{註61} el, dus 0,5 N. El. boven de begane grond, deze ophooging zal men het best maken uit goed droog zand, vermengd met een vierde gedeelte goed uitgebluschte kalk en dit goed vast aangestamd^{註64}, hierboven kan men beginnen te bouwen.

Ligging en plaatsing van het gebouw.

Het gebouw moet de vorm hebben van eene H (Letter H.).

島津家文書 82-4-4-1B 表一原文

De openingen der H moeten gerigt worden in de strekking der heerschende winden zoodat deze waaijen in de lengterigting van het gebouw. Ik geloof deze voor het Zuidelijk gedeelte van Japan het best zal zijn eene Noordelijke en Zuidelijke strekking, daar de meest algemeen heerschende winden zijn Noord en Zuid.

Het is zeer wenschelijk het gebouw op te trekken uit metselsteenen de ramen uit glasruiten te vervaardigen en het dak te vormen met dakpannen.

Voor de luchtzuivering moet men in de buitenmuur vierkante openingen maken welke met schuiven kunnen gesloten worden en corresponderen met gelijke openingen in de ziekenzaal-gang-muur. Deze gaten mogen niet over elkander maar moeten afwisselend geplaatst worden. De groote^{註68} van 0,2 El vierkant is voldoende, in elke zaal 3 aan de buitenmuur en 3 aan de binnenmuur, vlak boven de begane vloer.

Vervolgens moet men in de bovenzoldering van de bovenzalen in het midden groote ronde luiken aanbrenge welke gemakkelijk kunnen opengeleg worden en waardoor de warme lucht, die

屋舎ノ土基ハ大抵涅埵爾蘭土半会爾^{註59}高く積築スヘシ 此土基ハ乾燥セル砂ニ四分一ノ生石灰ヲ混シ善ク搗杵シ積堆スヘシ

島津家文書82-4-4-2 五丁表

構屋方向位置

構屋ノ形ハH字ノ如クナルヘシ Hノ開口ハ融通スル風ノ趣^{ムキ}向ニ順シ屋ノ豎徑ニ風ノ吹き入ル程ニナスヘシ °余^レ [予^レ ^{註65}] 謂^フ、日本ノ南方ニ於テハ南北ノ方向尤佳ナリトス 一般ニ流通スル風ハ南北ニ吹クコト最モ多ケレハナリ

屋壁ヲ塹埵シ窓牖ニ硝子板ヲ張り屋上^ニ瓦ヲ置テ尤良ナリ

大氣清潔ヲ致ス為^メ、ニ外壁ニ方孔ヲ穿テ障子ヲ装ス 病舎及廻廊壁ニ同様ノ牖孔ヲ開クヘシ 右ノ

島津家文書82-4-4-2 五丁裏

牖孔ハ相對スヘカラス 病舎ト外壁ノ牖孔互ニ^{アツクセレンド}乖戾^{シテ} ^{註70}開クヘシ 孔ノ大^キ方ニ巴爾母^{註71}ニシテ各舎ニ外壁ニ三孔内壁ニ三孔磚上ニ開クナリ

又棲舎ノ天井中位ニ大円窓ヲ開キ開闔ヲ便シ上際ニ騰ル温蒸ノ大氣ヲ洩スヘシ

は30フット、そして高さは16アムステルダム・フット、つまり容積は48,000立方フットである^{注60}。これは十二分に足りる。建物の全体を、地面より凡そ半オランダ・エル、つまり0.5オランダ・エル^{注62}高い土台に立つべきである。この土台は、良い乾燥した砂に4分の1の良く消和した石灰を混ぜたもの^{注63}をしっかりと押し固めるように作ることが最良である。この上に建て始めることができる。

建物の立地および設置

建物はH（文字H）の形であるべきである。

島津家文書82-4-4-1B 表一現代語訳

風が建物の縦方向に吹くように^{注66}、Hの開き口は優勢な風向に向けるべきである。日本の南部においては、最も一般的に優勢な風向が北と南であるため、北と南の方向が最良であろうと思う。

建物は煉瓦で建設し、窓は窓ガラスで製造し、屋根は瓦で形成することが非常に望ましい。

換気のために、外壁にスライドで閉めることのできる四角の開口部を作り、病室と廊下の間の壁^{注67}における同様の開口部と対応させるべきである。これらの穴は重なるのではなく、交互に設置されるべきである。各病室の床のすぐ上で外壁に三つと内壁に三つで、0.2エルの平方^{注69}の大きさで十分である。

続いて、自然に常に上昇する暖気が流出できるように、上の病室の天井の中心に開放しやすい大きな丸い上げ蓋を設置するべきである。

の⁶¹の字形が7に似ており、17と読み間違えられたと思われる。新谷氏（1986：61）は「手術後1日間」とするがdagenは複数形。つまり「軍病院」。新谷（1986：61）は「この建物が軍に徴用される際には」と訳すが、ここの *moet worden* 「なるべき」に「徴用」のような具体的な意味はなく、「（最初から）軍病院になる予定の場合は」のような解釈の方が自然。

注57

注58 「弗多」は voet 「フット」の漢字表記。「四十八」は48.000の点を小数点と誤解したと思われる。オランダ語で3桁ごとの桁区切りとしては点、小数点としてはコンマを用いる。

注59 「涅埤爾蘭土」と「会爾」はそれぞれ Nederland 「オランダ」と el 「エル」の漢字表記。

注60 1アムステルダム・フットは0.28313297メートルに当たるので（Gelder 1847：166）、長さは28.3メートルぐらい、幅は8.5メートルぐらい、高さは4.5メートルぐらいになる。

注61 正しくは *Nederlandsche* 「オランダの」。

注62 1820年～1869年の間、1オランダ・エルは1メートルに等しいと定義されていた。

注63 全体の4分の1が消石灰であるので、砂3：消石灰1の割合になる。新谷氏（1986：61）は「十分に粉碎した消石灰」とするが、*goed uitgebluschte* は「よく消和された」、*kalk* は「石灰」で粉碎を指す語はない。

注64 正しくは *aangestampt* 「押し固められた」。

注65 本文と同じ筆跡の頭注。

注66 新谷氏（1986：62）は「建物の長手方向の面に風が吹くように」と訳すが、*in de lengterigting* はむしろ「縦方向に沿って」である。

注67 新谷氏（1986：62）は「病室および廊下壁」とするが、*ziekenzaal-gang-muur* は「病室一廊下の壁」、つまり病室と廊下の間の壁

natuurlijk altijd naar boven stijgt kan ontsnappen.

Des winters zal men de ziekenzalen kunstmatig moeten verwarmen tot op ± 15^a Reaumur; het is vooral in dit jaargetijde dat men geene warmte mag daarstellen door sluiten van deuren en vengsters en daardoor tevens de luchtverversching beletten.

Op elke zaal mag slechts eene soort zieken opgenomen worden en deze mogen niet worden verpleegd op eene zaal met ziekten van eene andere aard. Zoo verdeelt men een Hospitaal bijv: nevensgaand plan in:

<u>Regtervleugel</u>	<u>Linkervleugel</u>
<u>Inwendige hoofdafdeeling</u> elk heeft dus 4 zalen	<u>Uitwendige hoofdafdeeling.</u> elk van 4 zalen.
1 ^a Voor koortslidjers.	5 ^o Gekwetsenzaa ^{註75} .
2 ^o Voor huidziekten	6 Venerische ”
3 ^o Voor herstellende ^{註76} .	7 Oogzieken ”
4 ^a Voor overige inwendige ziekten	8 ^o Schurftigen ”

De zalen 1 en 2 zijn op de benedenverdieping of gelijkvloers, de zalen 3 en 4 op de bovenverdieping. Hier zijn 5 en 6 gelijkvloers en 7 en 8 op de bovenverdieping.

Hierbij is zeer aan te bevelen deze indeeling alle jaar te verwisselen zoodat wat dit jaar zalen voor de uitwendige ziekten

島津家文書82-4-4-1B 裏一原文

zijn moeten een volgend jaar voor inwendige bestemd worden en omgekeerd, de ondervinding heeft dit als noodzakelijk leeren kennen.

Het gebouw plaatse men liefst op een open terrein waar de versche, frissche lucht

冬時ハ病院ニ人術ヲ以テ列氏凍点上^{註72}十五度ノ温暖ヲ保ツヘシ 此時節ハ窓戸ヲ閉テ温暖ヲ取ルヘカラス 然^ルトキハ病舎ニ大氣ノ代謝通流ヲ妨クルナリ

各舎ニ一種類ノ患者ヲ住居セシム 別種ノ病ア

島津家文書82-4-4-2 六丁表

ル者ヲ混入スヘカラス 喩ヘハ病院ノ区别図式ニ劃スル如クナスヘシ

右側手内部大別 各部四舎アリ

- 一番 熱病患者
- 二番 皮膚病
- 三番 快復人
- 四番 内臓病

左側手外部大別 各部四舎アリ

- 五番 創傷人
- 六番 梅毒病

島津家文書82-4-4-2 六丁裏

- 七番 眼目病
- 八番 疥癬病

一番二番病舎ハ下屋ニアリ 三番四番ハ楼上ニアリ 五番六番ハ下屋ニシテ七番八番ハ楼舎ナリ

右の病者配置ハ毎年更換スルコト尤良ナリ 今年外病ヲ置ク病舎ハ翌年内病人ヲ居クヘシ 嘗テ実験ニ徴スルニ是肝用ノ事ナリ

病屋ハ開豁ノ地ニアルヘシ 病人常ニ新鮮ノ大氣ヲ得ル所ヲ撰ム 喩ヘハ小丘陵ノ場所良ナリ 風

冬には病室を人工的に約15レオミュール度^{注73}まで暖めなければならないであろう。特にこの季節で、暖かみを生じさせるために扉や窓を閉めることによって換気を妨げてはならない。

各病室には一種類の病人しか受け入れてはならず、それぞれを性質の異なる病気の病室で看護してはならない。病院、例えば添付の見取り図は次のような配置をする：

右翼棟 内的疾病本科	左翼棟 外的疾病本科 ^{注74} 。
つまり、それぞれ4病室から成る	それぞれ4病室の。
1° 発熱患者のため。	5° 負傷者の病室。
2° 皮膚疾病のため	6 性病の ”
3° 回復中の人のため。	7 目の病人の ”
4° その他の内的疾病のため	8° 疥癬者の ”

病室1および2は下の階、つまり地上階に、病室3および4は上の階にある。ここは5および6が地上階に、7および8°が上の階にある。

これにおいては、今年外的疾病の病人のための病室になっているものが

島津家文書82-4-4-1B 裏一現代語訳

翌年内的疾病の病人に充てられなければならないというふうに、そしてその逆も同様に^{注77}、この配置を毎年逆にすることが強く推奨される。これが必要であることは経験から明らかになっている。

建物はなるべく新鮮で爽やかな空気が絶え間なく通れる開豁地^{注78}に建てるべきである。例えば、

のことと思われる。

- 注68 正しくは grootte 「大きさ」。
- 注69 19世紀において、0,2 vierkante el は必ず「0.2平方エル」という意味になるが、0,2 el vierkant は、「0.2平方エル」に加え、それより厳密と言える「0.2エルの平方」という用法もあったようである。ここでは「0.2エルの平方」、つまり「0.2メートルの平方 = 20 cm × 20 cm」と解釈した。この解釈では穴の面積が400 cm²になる。
- 注70 afwisselend 「交互に」を afwijzend 「却下・反対して」と誤解したものか。
- 注71 「巴爾母」は palm 「パルム」の漢字表記と思われる。1820年～1869年の間、1パルムは0.1エルに等しいと定義されていた。
- 注72 オランダ語で「約」の意味で用いられる ± を正数の +、つまり「氷点以上」と誤解したものであると思われる。因みに、新谷氏(1986: 62)の訳にも「約」に当たる語がない。
- 注73 つまり18.75セルシウス度。
- 注74 inwendige と uitwendige はそれぞれ「内的な」「外的な」という意味であるが、uitwendige は手術を要するものに限られるわけではないようであるため、敢えて「内科」「外科」としなかった。
- 注75 正しくは gekwetsten 「負傷者」。
- 注76 正しくは herstellende 「回復中の人」の複数形 herstellenden。

注77 en omgekeerd 「そして逆も」は vice versa と同じような表現。つまり、内的疾病の病人のための病室も、翌年は外的疾病の病人に充てられなければならないということになる。

注78 open terrein は直訳すると「開けた土地」、

*onophoudelijk toegang heeft, iets op een heuveltje
bijk. is raadzaam; (in nauwe straten zonder wind
of luchtstroom mag het niet staan:). Buiten de
stad is verkieslijk echter niet te ver, dan wordt het
ziekenvervoer te bezwaarlijk. Maar vooral moet
men letten op het water, een stroomend beekje of
klein riviertje is van groote waarde, daarentegen
vermijdde^{註79} men stilstaande waterblassen,
moerasgronden enz. In alle geval moet een
Hospitaal voortdurend ruim van goed en frisch
water voorzien zijn want het waterverbruik in
deze inrigtingen is zeer groot.*

*Mogt men nadere inlichtingen verlangen
omtrent de inwendige inrigting der zalen,
apotheek, badkamer, enz, enz, alsmede der
kleeding, voeding, het beheer, alsook omtrent de
wijze waarop de dienstregeling geschiedt, zoo
behoeft men dit alles slechts op papier te stellen en
mij deze vragen toezenden. Gaarne zal ik alle
noodige inlichtingen mededeelen.*

Desima den 13^e Junij 1858.

De off. van Gez. der K. N. M.

Jh JLC Pompe van Meerdervoort

ノ流通宜シカラサル狭隘ノ街地ニ建ツヘカラス

島津家文書82-4-4-2 七丁表

病院ハ巷街ノ外ニアルコト尤良ナリ 但シ市中ヨ
リ遠隔ノ地ハ宜シカラス 然ルトキハ病者ヲ送ル
ニ不便ナリ

病院ハ殊ニ水ノ性ヲ注意スヘシ 小池或小河アリ
テ清水流注宜キ所ハ大益アリ 溜水沼沢ノ地ハ避
クヘシ

病院ハ常ニ善性清水ヲ多ク備フルコト緊用ナリ
茲ニ水ヲ費用スル甚大ナリ

右病院ノ概略ヲ揭示スル外更ニ病舎。薬局浴室ノ
内形及シ衣食司令ノ法ヲ弁シ規則ヲ立ル要件ヲ

島津家文書82-4-4-2 七丁裏

識ラント欲スレハ[°]期 [°則^{註81}] 其諸件ヲ紙面ニ
認テ吾ニ贈ルヘシ 乃吾好テ右ノ要件ヲ伝フヘシ

千八百五十八年第六月 於出島

和蘭海軍医官 ポンペ^毎 メールテル
ホールト識

[八丁表裏ともに空白]

少し丘の上にすることが賢明である（風や気流のない狭い街路に建ててはならない）。街の外が望ましいが、遠過ぎることは、病人の搬送があまりに不都合になるため、望ましくない。しかし、取り分け考慮すべきであるのは水のことである。細流や小川は大いに価値がある一方、淀んだ池や沼沢地等は避ける方がよい。いずれにしても、このような施設は水の消費が非常に大きいため、病院は絶え間なく多量のよい、爽やかな水が供給されていなければならない。

病室、調剤室、浴室等々の内装や、衣服、食糧、管理、そして交替勤務制の運営方法をめぐってより詳細な情報が望まれる場合は、単にこれらをすべて文書化して、これらの質問を私に送ればよい^{注80}。すべての必要な情報を喜んで提供する。

出島、1858年6月13日。
オランダ王立海軍医官
ヨンクハール JLC ボンベ・
ファン・メールデルフォールト

つまり気流を遮断するもののない土地。

注79 正しくは *vermijden* 「避ける」の接続形 *vermijde*。

注80 つまり「単にどのような情報を提供してほしいかを明記した質問書を私に送ればよい」。

注81 本文と同じ筆跡の頭注。